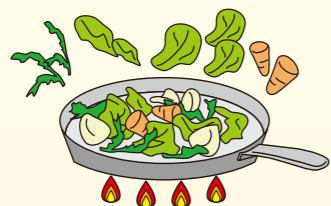


生ごみは、各家庭で減らせます！

生ごみの減量は、ちょっとした工夫ですぐにでも始められます。

- ▶ 食材を買いすぎない
- ▶ 調理くずを減らす(食材は出来るだけ丸ごと使う)



- ▶ 食べ残さない
- ▶ 生ごみを庭に埋める



- ▶ 生ごみを一絞りする など



市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

目指せ！生ごみゼロ

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。

Part 19

減らそう! 活かそう!

生ごみ大作戦

可燃ごみの半分が生ごみです

家庭から出る可燃ごみのおよそ半分が生ごみです。もしその生ごみを減らせば、日野市のごみは大幅に減ります。そこで、生ごみを減らすアイデア・活かすアイデアをご紹介します。今回は、生ごみの減量と活用に取り組んでいる「ひの・まちの生ごみを考える会」の協力を得て編集しました。生ごみの減量や土づくりなどのお問い合わせは、市ごみゼロ推進課へ。

市内新井の「せせらぎ農園」は、生ごみの分解過程を見て体験できる場所です。気軽にお立ち寄りください(定例作業日時: 火曜・日曜日10:00~13:00、木曜日13:00~16:00)。



生ごみは、資源として活かせます！

生ごみは、栄養たっぷりの肥料になり、おいしい野菜や元気な花が作れます。今、庭やベランダなどで家庭菜園を楽しむ人が増えています。あなたも挑戦してみませんか？



生ごみでおいしい野菜ができるなんて、まるで魔法みたいですよ！(高幡在住: 近藤知子さん)



古い土を生ごみで再生。土もフカフカ。一石二鳥です。(三沢在住: 加藤貴子さん)

ベランダでも出来る生ごみ堆肥の作り方のコツ

発酵に最適な 水分は約60%

生ごみの80%~90%は水分です。水分が多いと腐敗しやすく、臭いや虫が発生します。生ごみは腐らないうちに、一絞りするなどして水分をよく切って使いましょう。



排水口の網目は、浅いものを選びましょう。深いものでは生ごみの処理がおっくうになりがち。また、異物混入の原因になります。

土8:生ごみ2の割合で

容器(プランターや発泡スチロール箱など)に土と腐葉土を8割くらい入れ、その中に細かくして水を切った生ごみを混ぜます。米ぬかなどの発酵促進剤をまぶしてから混ぜると分解がスムーズです。虫除けのために、布をかぶせて(通気が大事)ひもで縛り、雨の当たらない場所に置きます。生ごみは全体の2割までに留め、いっぱいになったら別の容器で同じように始めます。



土はよく混ぜる

生ごみ投入をやめてから1ヶ月以上おき、生ごみの形と臭いがなくなれば植え付けできます。その間、微生物に酸素を供給することで発酵を促し、早くよい土にするため、できれば毎日、難しければ1週間に1度くらいを目安に土をよく混ぜましょう。生ごみを入れて堆肥ができたなら土を中和させるため、カキガラ石灰(園芸店で入手可能)をコップ1杯程度混ぜ込みます。



冬は温度を保つ工夫を

冬は気温が低く分解が進みにくいため、古布などで全体を覆って(通気に注意)日の当たる場所に置くなどします。土が水分過剰になったり、発酵熱が少なく分解が進まない場合には、米ぬかを一握り加えて混ぜると分解が進みます。



皆さんぜひチャレンジしてみてください！(旭が丘在住: 川崎力さん)